

H30岩船米生育速報(7月19日現在)

村上農業普及指導センター

生育概況

草丈:やや長～長 茎数:やや少～並 葉数:並 葉色:並(一部やや濃)

- 7月前半の高夜温により、上位葉が急伸長したことから、草丈はやや長～長く、葉色は梅雨明け後の好天から褪色が進み指標値並になっている。
- 生育の後ずれや基肥一発肥料(穂肥チッソ成分の吸収)により、葉色がやや濃いほ場も見られる。
- コシヒカリの生育は指標値並に推移しており、出穂期はほぼ平年並が予想される(今後の高温で早まる場合がある)。

当面の管理のポイント

コシヒカリ1回目穂肥は遅め、2回目穂肥は確実に施用しましょう!

- コシヒカリの1回目の穂肥時期は出穂18日前ですが、生育診断に基づき**草丈が長いなど、倒伏が心配される場合は、施用時期を遅らせましょう。**
- 今後も高温が続くことが予想されています。穂肥の施用量が少ないと急激に葉色が低下する恐れがあります。後期栄養を維持し登熟の向上と品質低下を防止するため**2回目の穂肥は、出穂期の葉色(SPAD値32～33)をめやすに、出穂10日前頃にしっかりと確実に施用しましょう。**
- 基肥一発肥料を使用している場合であっても、葉色が低下する恐れがある場合は出穂10日前頃に追肥を行いましょう。(化学由来チッソ成分量の基準に注意)
- 幼穂形成期以降は飽水管理を徹底し、ほ場を乾かさないように注意しましょう。
- カメムシの発生量が7月に入り急増していることから、**出穂前までの畦畔等の草刈りと出穂後の薬剤防除を徹底しましょう。**

【コシヒカリ】(*印は基肥一発肥料)

調査場所	田植	草丈(cm, %)			茎数(本/m ² , %)			葉数(葉)			葉色(SPAD値)		
		本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差	本年	指標差	前年差
山北*	5/12	78	108%	105%	390	92%	102%	10.9	-0.3	0.0	35.6	2.6	0.2
(大毎)													
朝日	5/15	76	103%	104%	481	112%	117%	11.8	-0.4	0.1	30.8	-2.2	-4.2
(川端)													
村上*	5/16	75	104%	99%	275	63%	63%	12.0	0.3	0.2	34.6	2.6	-2.0
(山辺里)													
神林	5/10	78	111%	104%	375	89%	96%	11.7	0.2	0.1	32.4	-0.1	-1.6
(牛屋)													
荒川	5/12	81	109%	103%	394	96%	98%	11.5	0.0	-0.2	38.1	4.4	-3.1
(名割)													
関川	5/12	80	111%	110%	502	120%	116%	11.9	0.2	0.5	35.6	1.1	-0.8
(下関)													
平均	5/12	78	108%	104%	415	98%	101%	11.7	0.0	0.1	33.8	0.7	-2.4

○平均は水稲作付面積に応じて、加重平均を出しています。

☆コシヒカリ1回目の穂肥は幼穂1cmを確認してから葉色・草丈で判断しよう☆

問い合わせ先:村上農業普及指導センター

TEL : 0254-52-7930 E-mail : ngt111240@pref.niigata.lg.jp